

圏域の未来に向けて

『中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン』を策定

「中海・宍道湖・大山圏域市長会」（松江市、出雲市、安来市、米子市、境港市）は、構成各市が有する特徴的な資源や優位性を生かし、圏域が連携して一体的に発展していくための指針として、『中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン』を策定しました。

このビジョンでは、圏域発展のための4つの基本方向や将来像を提案しています。また、市長会では、ビジョンに基づき、以下の事業に取り組みます。

▶問い合わせ先
地域振興課企画係
(☎ 47 - 1024)

ビジョンの基本方向

①活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

- ◇力強い産業圏域の形成
- ◇圏域内外を結ぶ交通ネットワークの充実
- ◇北東アジアに向けたゲートウェイ機能の向上と活用

事業	予算額
圏域内企業情報のデータベース化	600 万円
圏域内企業のビジネスマッチングの開催	
海外での圏域物産展開催（台湾、ロシア）	900 万円
ロシアへのビジネス展開サポート	
海外商談会等参加支援補助金	
環日本海定期貨客船航路就航支援	3,120 万円

②訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

- ◇圏域観光の魅力向上
- ◇圏域観光ネットワークの形成
- ◇インバウンド（訪日外国人）観光の推進
- ◇圏域観光体制の充実

事業	予算額
海外での観光プロモーション（台湾、韓国）	720 万円
クルーズ客船寄港時のおもてなし	
国内での観光プロモーション（東京、広島など）	870 万円
マイカー観光客を対象とした情報発信・圏域内周遊促進	
圏域一体となった観光案内体制の支援	

③住みたくなる圏域づくり（環境の充実）

- ◇自然環境の保全と活用
- ◇歴史・文化の継承と活用
- ◇安心して暮らすことのできる環境の充実

事業	予算額
小学生を対象とした自然体験学習	250 万円
自然環境の保全・活用にかかる広報啓発	
環境保全に関する新たな取り組み等の検討	

④ともに歩む圏域づくり（連携と協働）

- ◇人材確保・育成の体制づくり
- ◇人材・活動団体データベースの共有と活用
- ◇情報共有と連携

事業	予算額
ホームページや各種イベントを活用した情報発信	820 万円
シンポジウムの開催	
圏域のプロスポーツチーム支援などを通じた一体感醸成	

※表は平成 25 年度実施の主な事業

目指す将来像は

水と緑がつながる 人がつながる
神話の国から 未来へつなげる

将来像に込めた思い

圏域が一体となって、神話に彩られた歴史・文化を継承しながら、一層の交流と連携を育むことで、圏域の個性にさらに磨きをかけ、新しい産業や文化を創造し、人の元気と魅力にあふれる圏域の未来へつなげます。